

い
ま

日本の学童保育がおもしろい

1月号

1月号にも石川県の方が
たくさん掲載されています。
続きを読むでね！

子どものひろば

P40

山本さん(2年)

(石川県野々市市 第2学年)のクラブ

わたしはきょうパンケーキをたべました。ふわふわでおいしかったです。

わたしはパンケーキのうえにホイップクリームといつもいました。

わたしはまだ学年でたべたいと思いました。

新年のごあいさつ

P70



「子どもをまんなかに」保護者と指導員が
共に助けあいながらよりよい学童保育を
つくりあげていきましょう

全国学童保育連絡協議会 会長 戸塚丈夫

読者の皆様、あけましておめでとうございます。2023年はどんな年でしたか。2023年春に、こども家庭が発足し、子ども関連の施策や情勢が大きな変化を見ています。

「学童保育」は、子どもがのびのびと主体的に自らの生活をつくりだす場です。これを保障するには、施設や外遊びの場所を含め、安全で安心して過ごせる環境を確保する必要があります。

そのためには、保護者・指導員をはじめとする学童保育関係者が「保護者会・父母会」「学童保育連絡協議会」などをつうじて、交流・学習・研究を進め、行政への働きかけなどをひきつづいていくことが大切です。

2024年が、皆様にとって充実した年になりますように。
子どもをまんなかに、保護者と指導員が共に助けあいながら、
よりよい学童保育をめざして取り組んでいきましょう。
今年も、よろしくお願ひ申し上げます。

◇全国学童保育連絡協議会の総会が開かれ、新役員（石川の重木さんを含む）が承認されました。

10月29日に会場とオンラインによる総会が開かれました。
活動・決算の報告や活動方針・予算案などが承認されました。
詳しくは1月号をご覧ください。

この『日本の学童保育』普及拡大ニュースは石川県学童保育連絡協議会（略称：県連協）が独自に発行しているニュースです。

より多くの方に全国連協の機関誌『日本の学童保育』をもっと読んでもらいたい、広げてもらいたいとの願いで作っています。

P68

「自然災害 学童保育支援募金」「東日本大震災 学童保育募金」
ご協力のお願い

2023年11月 全国学童保育連絡協議会

全国学童保育連絡協議会では、2023年以降に発生した災害により被災した地域の学童保育を支え、信頼的・緊急的な支援に活用するために、「自然災害 学童保育支援募金」を掛けとどめに、星野吉治郎に向け、誠意・意気の日本政府へ、確立を求めています。

- ① 学童保育施設の再建・補修や必要な備品などの支援
- ② 学童保育の運営費への補助
- ③ 研修・講習活動など指導員への支援
- ④ 学童保育の復興・復興・立ち直りを支える体制づくりのため、被災した地域の学童保育連絡協議会等に対する支援

*お寄せいただいた資金は、当該地域の学童保育連絡協議会と相談のうえ、必要に応じて各地域に配付します。

*お寄せいただいた金額および額度は、全国学童保育連絡協議会で貯められ、今後の災害支援のために活用させていただきます。

「自然災害 学童保育支援募金」の振込先

（個人登録の場合） 口座番号：9-635754

口座名：全国学童保育連絡協議会

（銀行振り込みの場合） ゆうちょ銀行・〇一九店・当座預金・口座番号：0635754

口座名：全国学童保育連絡協議会（ゼンカガガガウケンボウリョクカイ）

読者のひろば

生活の一部

石川県野々市市 保護者

P63
二〇二三年一月号の特集

「子どもの権利と学童保育」を読みました。ほかの学童保育の保護者の方や、指導員さん、みんなそれぞれにとつて学童保育が過ごしやすい場所、暮らしの一部になっていることを感じました。私の子どもが通っている学童保育では、先月、「思い出旅行」という行事がありました。

二〇二三年一〇月号の「おもいで絵日記」に掲載されていた内野瑞季さんの「おもいでのドライブ」を読んで、自分自身の昔を思い出し、なつかしくなりました。私の父も、私が小学校低学年の頃、海へ釣りに連れてつづくくれたり、貝殻拾いやヤドカリを捕まえたり……と、ドライブがてらよく海へ連れていってきました。

P74

協議会だより

国的情報や全国連協の活動などの紹介ページです。

皆さんの感想やご意見、クラブのおたより、子どもの作文の投稿 大歓迎！！



お気軽にどんどん
送ってください



次号もおたのしみに！

◇自由民主党学童保育推進議員の会の総会が開かれ、こども家庭から実施状況調査結果や「こども未来戦略方針」に「放課後児童クラブの常勤配置の改善」などの説明がありました。

国会議員で構成される学童保育議員連盟がもう一つ超党派で構成される会があります。

講座
「おもいで絵日記」
出合い集い父母会／子育て日記／ワイヤーズ／まんが／子どもひろば／読書のひらば／ほか
講座
「おもいで絵日記」
出合い集い父母会／子育て日記／ワイヤーズ／まんが／子どもひろば／読書のひらば／ほか
須藤敏昭 高砂淳一

第58回
[特集]
2月号

全国学童保育研究集会

記念講演／特別報告／分科会報告／
参加者の感想 ほか

次号予告
2月号

1月号の特集は
「学校と学童保育
一子どものための連携・協力を」です。
金沢市こつぶっこクラブの方に
感想を寄せていただきました。



*この特集を読んで、同じ立場にある保護者の方の記事に共感するが多くありました。

「第二のおうち」とありますが、本当にその通りだと改めて思いますし、こつぶっこクラブは子どもにとって親にとても安心、成長できる場所となっています。

このように感じられるのは、こつぶっこクラブも学校との連携を取られているからなのかと振り返ります。入学当初、下校の際は集団で学童へ移動する連携がありましたし、学校行事の際は学校で学童の先生の姿をお見かけすることがありました。

学童保育の先生は子どもの成長を促し、見守りもしてくださいって、それを親にもたくさん教えてくださいます。この一年で息子の成長を感じますし、親もたくさんの気づきから子どもへの関わり方や促し方などたくさん学びがありました。 こつぶっこクラブ保護者

*今回、2024年1月号の特集「学校と学童保育」を拝読し、それぞれの地域で、学校と学童、そして保護者のそれぞれが、様々に工夫して連携しながら、子どもたちの成長と発達を見守っている様子に、我が家今までの子育ての形を重ねておりました。

今は小学3年生の次女だけがお世話になっていますが、かつては現在中学生の長女と長男も学童を利用していました。長女には知的障害と自閉症が、長男にも自閉症とADHDがあったことから、学童では、我が家がどんな様子で過ごしていたのか、指導員の先生方は、日々の姿をよく観察してくださり、都度教えて下さいました。親としても、特性ある我が家子たちの子育てが日々手探り状態だったので、指導員の先生方と話しているとき、「ともに」我が子たちの「育ちを見守って」いる、そんな貴重な時間だったと思います。また、学童での様子を学校の先生方にもお伝えすることで、先生方にも様々な気づきが生まれたようで、我が家なりの、学校、学童、そして家庭の3者間での育ちの見守りの形は、こうして生まれていったように思います。

改めて、学童の指導員の先生方には、普段から子どもたちを広い心で見守り育てて下さり、感謝と尊敬の思いでいっぱいです。

こつぶっこクラブ 直居麻衣子

*特集「学校と学童保育」の中で、学校の担任の先生にある男の子が『わからないことや困ったことや待ってほしいという時に先生が待ってくれた嬉しかったです。』と伝えている文がありました。大人も子どもも時間に追われる日々で待ってもらえないことや困っている気持ちを言えないということは子どもたちにとって、自分の気持ちを表現するチャンスを失っているのではないかと改めて感じました。人が自分の器を広げ子どもたちのどんなことでも受け入れる余裕が持てると子ども自身がどんな自分も表現できるのだと子育ての気づきになりました。娘が通っている学童保育には、父母会があり子どもたちの様子を先生と話す機会があります。その中で、町内を鬼ごっこしたいという子どもたちの思いが実現したとのお話をありました。いろいろなことが制限されている時代に子どもたちの思いに寄り添って下さった先生方に感謝致します。子どもたちにはとても大切な体験だったのではと感じます。認めてもらえたという経験の積み重ねが子ども自身、自分が成長していく

ると実感できるのではないかと思いました。『子どもをまんなかに』と考えて下さる学童保育の暖かさを日々感じています。

こつぶっこクラブ 岡田晃子



* 1989年に開所して以来、子どもをまんなかに据え必要な時に小学校との協力や連携を大切にしてきました。友達関係やその他、こつぶっこクラブで困っている子どもは学校でも困っていると考え、子どもの為にと校長先生や担任と話し合いをお願いしてきました。

春には「子どもの名簿」を学校に届け、こつぶっここの行事案内チラシの配布などもお願いしています。学校からは月の計画や時間割などのお知らせを頂き、支援員も出来る限り授業参観や学校行事に参加をし、子どもの様子を見守り子どもの理解に努めています。

改めて、家庭、学校、地域における協力や連携の大切さを感じました。しかしそのことが子どもを指導するためのものになってはいけないと感じています。これからも子どもの為に家庭、学校、地域とよりよい連携ができる様、支援員で話し合っていきたいと思います。

こつぶっこクラブ支援員

三浦啓子

